

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年08月31日

計画の名称	播磨町における循環のみちの実現(2)(防災・安全)													
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	播磨町													
計画の目標	豪雨による市街地の浸水防止や地震に強い下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		1	A	1	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	平成31年度末までに、雨水貯留施設を30基設置する。 雨水貯留施設の設置基数(30基)	0基	10基	30基



備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



事後評価

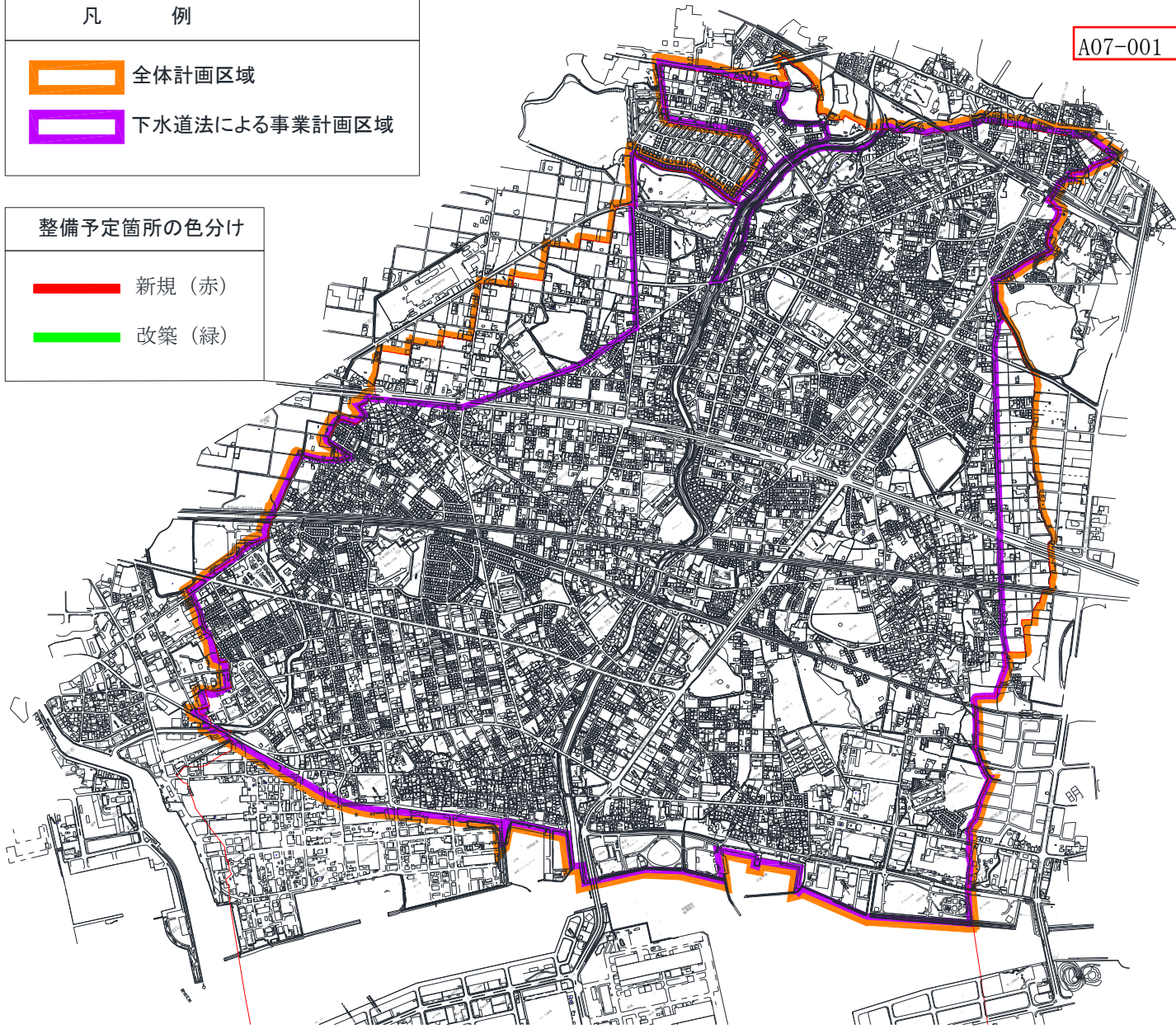
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 本町内部において評価を実施する。	事後評価の実施時期 令和2年8月
	公表の方法 町のホームページに掲載する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	雨水貯留施設の設置を促進することにより、雨水の流出抑制及び良好な水環境に対する住民意識の高揚に寄与することができ、これにより良好な水環境を維持・回復し地下水の涵養に資することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き雨水貯留施設の設置を促進することにより、住民に対し雨水の流出抑制及び良好な水環境についての啓発に努める。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	30基	雨水貯留施設設置助成制度開始当初に比べ、申請者数は減少傾向にあるが、概ね目標値を達成することができた。
	最終実績値	29基	

計画の名称	播磨町における循環のみちの実現（2）（防災・安全）（第2回変更）		
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付対象	播磨町

凡 例	
	全体計画区域
	下水道法による事業計画区域

整備予定箇所の色分け	
	新規（赤）
	改築（緑）



A07-001 雨水貯留施設設置の助成

